

# ひだまり

### 第8号

## 理事長あいさつ

関東地方の梅雨入りは、近畿・東海地方より早い6月6日でした。昨年より8日も早い梅雨入りでした。その結果でしょうか、今年の梅雨明けは観測史上最速の6月27日でした。「梅雨明け10日は猛暑続き」と言われますが、まさに連日40度に迫る危険な暑さが続いております。(この情報誌がお手元に届く頃には、猛暑が少しは落ち着いてくれると有難いです。)

6月15日に通常国会が閉会となり、7月10日の参議院選挙投票日が確定しました。(これもまた終わっている事でしょう。)

6月16日に、衆議院の選挙区改正案が勧告されました。これが確定すると、栃木市は、旧栃木市が5区、西方町が2区、都賀町・大平町・藤岡町・岩舟町が4区で、三つの選挙区に分かれています。次回の衆議院選挙では全て『5区』になります。

選挙の度に問題になるのは、「投票率」でしょう。特に若年者の低投票率が問題視されます。

成年年齢が18歳になり、選挙権も取得する事になりましたので、更に投票率が低下するのではないかと危惧されております。

投票率が低いのは、政治に無関心者が多い結果でしょう。

60年・70年の安保闘争では、学生運動が躍動し、政治論争が華々しく激論されておりました。

その結果でしょうか、現代社会では、学校教育で政治問題を取り上げる事は何故か一般社会で禁止されているように思われます。

「投票率」を上げるポイントの一つは、学生時代から政治に関心を持つような教育をする事ではないでしょうか。

参議院選挙の『投票率』がどうなっているのか、期待を込めて楽しみにしております。

「若者達よ、政治に関心を持とう。我が国の借金、国民一人当たり1千万円を超えております。未来は君達の世ではないか！」(2022年7月1日記)

理事長 岩川 和男

## 保護者会総会開催のご報告と今年度の事業計画について

法人関係者の皆様には、日頃より保護者会の活動にご理解とご協力を頂き大変有難うございます。去る4月29日(金)に、昨年度と同様にゆーあい工房ホールにて2022年度保護者会総会を開催致しました。

当日はゴールデンウィークの初日でなおかつコロナの感染が収まりきっていない中でしたが、多数の保護者の皆様にご参加を頂き議題の審議をすることができましたので、その内容についてご報告申し上げます。

昨年度も、コロナの影響で計画した事業のほとんどが中止あるいは利用者職員だけの実施となってしまいましたが、今年度はコロナ禍で迎える3年目でもあり、社会の傾向もウイズコロナの方向に向かっていることから、ゆーあい工房の行事日程と連携させて今年度の事業計画を決定させて頂きました。

例年と同様の「運動会」「工房まつり」「クリスマス会」に加えて、10月に詳細は決まっておりますが、コロナ禍でも多くの方に参加して楽しんで頂けるような内容で「親睦行事」を実施したいと計画致しました。

それぞれの事業の実施日が近づきましたら改めてご案内を差し上げますので、その際にはご協力およびご参加下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

保護者会長 佐野 義晴

## 「コロナ禍での変化」

コロナ禍で社会・職場・家族関係等、様々な変化がありました。大変だったことは数限りなくありましたが、我が家の「良かった」変化をひとつご紹介します。

それはご縁があり(妻の一存で?)、柴犬を家族に迎え入れたことです。コロナ禍で職場・学校・自宅でも制限ばかりとなり、我が家でも子ども(姉妹)の楽しみの週末の外出やレジャーも「一切なし」となり、スマホやゲームばかりでしたが、そんな時にご縁があり、柴犬のオスの小鉄(こてつ)(長女命名)を迎え入れました。

小鉄との生活は、我が家にとって大きな変化でした。今までは家族それぞれ自分のことが優先になりがちだった家族関係が「小鉄中心」になり、散歩やトイレの片づけ等、子供たちも進んで協力してくれるようになりました。朝夕の散歩では、家族の会話も増えて、なんだか家族の仲が良くなったような気がします。その一方、テーブルや椅子の足、壁やドアなどは噛まれてボロボロになりましたが…泣

4人家族の唯一の男性で何かと肩身の狭い私は、小鉄とのこれからの楽しい生活に加え「家族の鎧(かすがい)の役割」を大いに期待しています。笑

カネサカ ナオミチ

うまぐりの里 評議員 金坂尚慶(わらしべの家 施設長)



## コラム「虹色のペンシル」 第8話

### 子供の将来

長 久夫(麻里絵さん父)



仕事でモンゴル国に幾度か行く機会があり、郊外にあるゲル地区を訪ねてみると、一見してダウン症とわかる子供に出会うことがあります。

娘(ダウン症)と同じ障害をもつ、ゲル地区で遊牧生活している人々の生活環境はどうなっているのだろうか。病院に行くにも何時間もかけて首都まで移動し、医療機関に関しては医療環境・医療機器などはひと昔前の環境です。病院に行かず短命(障害者)で亡くなる人たちも多いとのこと。(平均寿命65歳)

また、社会主義時代には、障害者に対して今以上の偏見があり、ゲル地区などの家庭では町へ外出なども無かったようです。今では、社会全体で意識改革に取り組んでいるようですが、人の差別的な態度・意識が変わるにはまだ時間が必要。改めて具体的な行動で、意識を変えていく必要があるかと思います。社会福祉環境については、全施設数約600棟、人数約11万人。日本と同様に、企業へ障害者雇用枠を設けていますが、違約金を払って実際の雇用は皆無のようです。障害者年金制度もありますが、少額(数千円)で家族が面倒を見るのが当たり前の生活です。

社会全体で共存社会へと変化して行くことが必要ではないか、と改めて思います。

## 赤い羽根共同募金

令和2年度の共同募金の配分を受け、木工作業で使用する「レーザー加工機」を整備しました。

当事業所では、平成10年4月から利用者が木工作業を行っています。主に、栃木県産のヒノキ材を使用して、パズルなど数十種類の木工製品を自主生産し、販売しています。レーザー加工機を導入し、商品に付加価値をつけることにより、地元の行政や企業に記念品として製品を使っていたり、マスコットキャラクターをモチーフにした製品を道の駅などに置かせていただくなど、幅広く取り組んでいます。

最近では、通常の商品の他に卒業記念などのキーホルダーや木製パットへの彫刻などの特別注文が増えています。また、2022年10月に開催予定の「いちご一会とちぎ国体」の記念品のコースターの製作を受注したことに伴い、1台では足りないことが課題となりました。

共同募金の配分を受け、レーザー加工機をもう1台整備したことで、お客様のニーズにスムーズに対応することや大量注文にも対応できるようになりました。

主任支援員 川又 正久



## イベント販売の様子

新型コロナウイルス感染症が報告されてから、2年半が経ちました。これまであった各イベントは軒並みに中止となり、イベント販売に出店する機会が激減してしまいました。それが昨今、感染症対策を前提ではありますが、徐々に再開されています。

ゆーあい工房でも、イベント販売に出店する機会が増えています。そして、その販売活動に、保護者の方々がボランティアとして参加してくださっています。直近の主なイベントは、栃木県立博物館での「県博デー」や、オリオン通りで行われた「国体100日前イベント」等です。ほとんどが宇都宮での販売ですが、それでも協力して下さる保護者の方々には、頭が下がる思いです。

そして、その販売活動の際に、ペットボトル飲料を販売しています。こちらの利益は、グループホーム設立の為の資金として、全額寄付します。ペットボトルが1本売れた際の利益は数十円ですが、その数十円によって、利用者さんの我が家ができる第一歩となります。販売活動に従事する職員も、そう遠くない未来に向かって、精一杯販売を行っています。

最後になりましたが、皆様、くれぐれも熱中症にはお気を付けてください。イベント販売においても、ほとんどが飲食禁止ですが、水分補給は例外となります。適切な水分補給は、是非、ゆーあい工房のペットボトル飲料をお願いします！

支援員 荒川 直人

## 「つぶやき」

私がこの「つぶやき」の原稿を書いている今日、観測史上最も早い梅雨明けとなりました。連日35℃以上の猛暑日となり、「まだ6月なのに」とぼやいているところです。

さて、私は8月生まれですが夏がキライです。夏と冬どっちがいい？と聞かれたら、迷わず「冬」と答えます。高校まで白球を追いかけた野球小僧でした(今も草野球やソフトボールをやっています)が、夏がキライになってしまいました。そう、「暑すぎる！」のです。いつからこんなに暑くなったのかと思い、ちょっと調べてみることにしました。

野球に燃えていた90年代からではありますが、7～9月の平均気温、最高気温については、年によって多少の違いはあるものの、あまり変わっていないことが分かりました。明らかに上昇しているのは、「35℃以上の日数」と「最低気温の上昇」の2つが原因と分かりました。夜になっても気温が下がりきらず、熱帯夜となって寝苦しく、連日の猛暑日が体を休ませてくれないのです。やはりという感じではありましたが、今年の夏もとても不安です。

さて、これ以上つぶやくと私のやる気にも影響が出るので、この辺で終わりにしたいと思います。今年も暑い夏が始まりました。エアコンを上手に活用し、水分をしっかりとって、熱中症対策を万全にし、乗り切っていきたいと思います。

サービス管理責任者 渡邊 啓之



## 日本一を観測した「アメダス・佐野地域観測所」

今年の夏は、梅雨が観測史上でもまれな早さで明けてしまい、どの地域でも6月中から猛烈な暑さ(高温)到来に驚かれたことと思います。

私は、佐野市に住まいがあります。これまでの佐野市といえば、「青竹手打ち佐野ラーメン」と「プレミアムアウトレット」辺りが有名で、おかげさまで週末といえば、ラーメン屋に並ぶ行列とアウトレットに続く旧50号の慢性的な渋滞を横目に見ながら過ごすことが、市民の常識でもありました。

ところが、ここ数年は「日本一暑い街・佐野市」としても名前を売りましたよね。今年も6月末には、39.8℃という信じ難い記録を更新し、日本中に佐野市の名を轟かせました！！

その記録を観測するアメダスが、実は私の家から歩いて100歩程の所にあるのです。確か10年ほど前、新しく道路が整備されたときに忽然と建てられたように記憶しています。

犬の散歩でそばを歩くと。そっと私はつぶやきます。「よつば(犬の名)、君は日本で一番暑い所を歩いているんだぞ。肉球は暑くないかい？」と。

アメダスとは、こんな感じで建っているの、参考にご覧ください。

夏本番は、暦上ではこれからです！！どうぞ、暑い夏を健やかに過ごしてください。

施設長 中村 君枝

①道路脇に立っています。



②そばでみると観測機器はこんな感じ。



## 新利用者紹介(石川 輝さん)

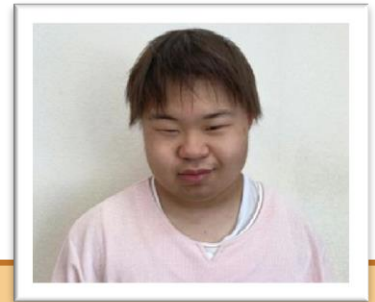
石川さんは、栃木特別支援学校を卒業し、令和4年4月1日にゆーあい工房へ入所されました。現在は、月・火・水曜日にゆーあい工房を利用されています。初めは緊張した様子も見られましたが、工房での生活にも慣れてきて、休み時間などは仲間たちと笑顔で話す姿が見えるようになりました。輝さんは就労継続支援B型を利用し、木工作業をがんばっています。これからも仲間たちと楽しく、作業でも活躍していただき、充実した生活を送ってほしいと思います。

～石川さんから一言～

石川 輝(いしかわ ひかる)です。

僕はポケモンと恐竜が好きで、毎日本を読んでいます。

お仕事ががんばりますのでよろしくお願ひします。



## 利用者紹介

臼井 史彦(うすい ふみひこ)さん(栃木市在住)と木工作業

臼井君(と呼んでいます)は、ゆーあい工房を利用されて間もなく9年。

その間木工作業一筋に腕を磨き、今では、電動糸鋸を使う切り出しの工程ほぼ全てが臼井君に任されています。人気商品のパズル類、季節の置物、幼児用玩具、ロングセラーの沐浴材に至るまで全ての切り出しができますが、その仕上がりは職員でも顔負けです。

無くてはならない存在感と優しく思いやりのある性格で、男女を問わずに周りの皆から慕われています。これからも木工作業とゆーあい工房を宜しくお願ひします。

一言インタビュー

①休みの日は何をしていますか。

家族と買い物や食事に出かけてリフレッシュ。

②趣味は何ですか。

スポーツジムで体を鍛えること。

③これから挑戦したいこと。

木工作業の「電気ペン」をマスターしたい。



小川 由里子(おがわ ゆりこ)さん(栃木市在住)と受注作業

ユリコちゃん(と呼んでいます)とは、ゆーあい工房開所からのお付き合いです。もう24年も経つのですね(笑)。

ユリコちゃんは、落ち着きがあるしっかり者。口数は多い方ではありませんが、真面目で優しいお姉さん的な存在です。受注作業に長く関わり、「菓子箱折り」や「折り紙セット」の仕事では中心となり活躍しています。工房を休む時は、電話で友人と段取りの相談をしているとか(ひゃー凄い!!)。

そんなユリコちゃんは、自宅でもご両親を助け、朝6時から毎日掃除機を掛けているそうです。これからも、健康に気を付けて受注作業・ゆーあい工房を宜しくお願ひします。

一言インタビュー

①休みの日は何をしていますか。

いつも通りに家事を手伝います。

テレビをみたり、買い物に行くこともあります。

②趣味は何ですか。

日記をつけたり、書き物をする事。

氷川ひろしの大ファンでコンサートにも行きます。

③これからやってみたいこと。

折り紙・おとなの塗り絵。野球観戦にも行きたい。



## 活動紹介 ～木工作业～



### とちぎ国体、盛り上げ隊！！

木工作业室は、現在「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」の記念品・ノベルティグッズ等の制作で、日々フル稼働中です。

前回の『ひだまり』で木工作业班から、皆さまへご紹介しておりました「とちぎ国体コースター」2万枚。納品日が差し迫る中、木工・菓子・受注作業の垣根を越え、活動しています。また、保護者の皆様にも、ほぼ毎日ボランティアのご協力を得ながら、総力を挙げて制作を進めております。

この『ひだまり』が発行される頃には、無事2万枚すべてが納品され、ホッと一息…したいところですが、各団体様からご注文を頂いているノベルティグッズやキーホルダーの製造にまた力を注いでいかなくては…！嬉しい悲鳴です。

国体開催期間には、会場での出店も予定しているので、販売する商品の製造も同時進行で行ってまいります。

今年は国体一色の木工作业。栃木での開催は、昭和55年の第35回国民体育大会(栃の葉国体)以来、42年ぶりの開催だそうです。たくさんのお客様が全国から集まります。私たちが心を込めて作った商品を知って頂けるこの貴重な機会を存分に生かせるよう、楽しみながら制作していきたいです！



支援員 大久保美穂

納期が迫り、5月末から連日のように保護者ボランティアにご尽力いただきました！

## 活動紹介 ～菓子作業～



### ～『株式会社サカエ工業』様のご紹介～

菓子作業からは、定期的にお伺いしている『(株)サカエ工業』様の移動販売での様子をご紹介します。

『(株)サカエ工業』様は、栃木市大平町西野田にあるプラスチック製品の開発・設計・製造および販売をしている会社で、地域貢献活動に積極的に取り組まれています。

私たちの販売活動にもご理解・ご協力くださり、月に2回ほど木曜日のお昼にパンの販売をさせて頂いています。

お昼休みのチャイムが鳴ると「今日も、いつもの！！」と、パンを片手に必ず購入してくださる方や、「このパン美味しかったよ！」と声をかけてくださる方、「コレと、コレと…」とあっという間にパンが山積みになり、エコバックにたくさん詰めて購入してくださる方。お昼休みの短い時間ではありますが、明るく気さくに声をかけてくださる従業員の皆様と接する時間は、とても楽しいです。

毎回、ばんじゅう4箱にめいっぱいパンを詰め込んでいくのですが、いつも完売です。

従業員の皆様の買い物ラッシュが落ち着いた頃、「今日の売れ行きはどう？」と必ず気にかけて、声をかけてくださる池添社長。ばんじゅうに寂しそうに残るパンを見ると、社長は「きれいにしちゃおう！」と魔法の言葉を唱え、爽やかに大人買い。軽快に工房へ戻り「サカエ工業さん、今日も完売です！」の報告に、工房の仲間の皆も笑顔で拍手です。「嬉しいね！また頑張って作らなきゃね！」と仲間達の士気が上がります。

これからも美味しいパンを作り、『(株)サカエ工業』の皆様のお昼のひと時に笑顔をお届けしていきます！

支援員 小林 倫子

### ～『株式会社トーヨー』様のご紹介～

今回は、受注作業で取り組んでいる「おりがみの作業」について紹介したいと思います。

おりがみは、栃木市都賀町にある、「株式会社トーヨー」様から作業を受注しています。トーヨーのおりがみは、皆さん一度は使った事、見た事がある商品だと思うので、作業工程を含めて紹介します。

おりがみにも種類がたくさんありますが、今回は、トーヨーの主力商品でもある『教育おりがみ』の作業内容を説明したいと思います。

#### 【仕分け】 写真①

おりがみだけで重ねてある束から1冊分ずつを取り、互い違いになるように重ね直します。

#### 【組み合わせ】 写真②・③

台紙と手本の紙を重ね、その上から仕分けをしたおりがみを更に重ねます。

#### 【袋詰め】 写真④・⑤

組合せをしたおりがみを表紙で包み、袋に詰めます。

#### 【計量】 写真⑥

手本や表紙が2枚入っていないか、おりがみの枚数に間違いが無いかをグラム数でチェックをし、問題が無ければ封をして完成になります。

教育おりがみに限らず、おりがみの作業は、いくつもの工程に分かれています、仲間それぞれが得意な作業に分かれて、1冊のおりがみを完成させます。

支援員 佐々木竜也



# 2022年3月～5月 行事

3.30なごみの家 太平山お花見



花より焼き鳥…



4.1入所式



新しい仲間よろしくね!



ノリノリでダンスする仲間も♪  
いいお天気で気持ち良かったね！

4.23みっちーさん演奏会&小山総合公園

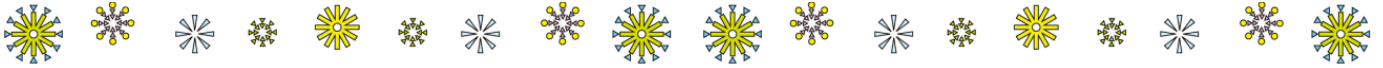


5.28寄せ植え&グループ別おでかけ



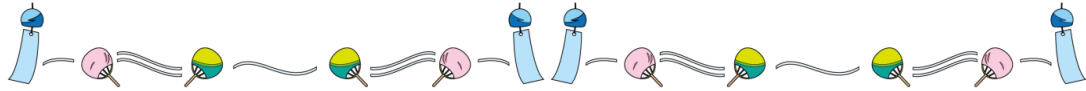
日頃の感謝をこめて





## ゆーあい工房まつり・公益的取組事業について

現在、実施内容等を検討し、11月23日(火)祝日に開催を予定しておりますが、新型コロナの感染状況等を踏まえ、今後、早めに方針決定して参ります。



## ご寄付のお願い

社会福祉法人うまぐりの里では、法人として2つ目となるグループホーム建設を計画しており、入居者9名、短期入所利用1名の合計10名定員を予定しています。

既に建設予定地が決まり、現在は、ゆーあい工房職員で組織する「GH職員部会」と法人で設置している「GH整備委員会」の2つの専門部会が中心となり、建物の設計図等について協議・検討を進めておるところです。入居される利用者にとって家庭を離れても安心して過ごせる快適な住まいの実現は、高齢・重度化にある利用者やその家族にとって念願の夢の実現でもあります。

しかしながら、昨今の制度の変化等の関係もあり、法人経営はますます厳しくなる傾向が否めず、多額の借入れを含めても、まだまだ自己資金が足りません。

つきましては、個人や団体、企業様からのご寄付をお願いいたします。お寄せ頂いたご寄付は、グループホーム建設の貴重な財源として活用してまいります。

皆様からの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

社会福祉法人うまぐりの里 TEL0282-25-4001(担当 中村)

### 社会福祉法人うまぐりの里

法人本部、障害福祉サービス事業所ゆーあい工房  
相談支援事業所めだか

〒328-0033 栃木市城内町2-62-14

TEL 0282-25-4001

Fax 0282-25-1575

E-mail [yu-aikoubou@cc9.ne.jp](mailto:yu-aikoubou@cc9.ne.jp)

ホームページURL: <http://www.cc9.ne.jp/~yu-aikoubou/>  
<https://www.umagurinosato.com/>

共同生活援助事業所なごみの家

〒329-4412 栃木市大平町北武井655-3

TEL・Fax 0282-21-7800

### ●編集後記●

盛夏を迎え、今年も酷暑が予想されます。ここから益々暑い日が続きますので、皆様お身体に気をつけてお過ごしください。

ひだまり8号の発行にあたり、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

### ●編集スタッフ●

うまぐりの里常務理事	中村 君枝
ゆーあい工房支援員	大久保 美穂
ゆーあい工房支援員	荒川 直人
ゆーあい工房支援員	小林 倫子